

志布志小PTA新聞の表紙。上部には「志布志小PTA新聞」のロゴと「よらこそ一年生」という大きな字。左側には「1年1組」と「1年2組」の子供たちの集合写真があり、右側には「陣岳」の書道作品と「2020.12 VOL.01」の発行情報が記載されています。

保育部長

コロナの影響で、子供たちも不完全燃焼だったとは思います。保護者の方々も多少不満の残る今年度の運動会だったのではないかでしょうか。子供たち中心の運動会となりましたが、早くコロナがなくなることを願いたいものです。

子供たちは慌ただしい時間となり、入退場も急がされ、疲れもみえました。保護者の方々の見学も、どこか不満顔に見えました。また、先生方の種目もなく今一つ盛り上がりにかけていました。六年生にとっては、最後の運動会となりましたが、良い方向にとらえて、卒業までの思い出になれば幸いです。

来年こそ、例年通りの運動会ができるよう、子供たちと一緒に願っています。

運動会を終えて

赤組保護者

今年は、息子にとって小学校最後の運動会でした。

このコロナ渦の中で運動会が開催されるかどうかわからず不安でしたが、開催されることになり大変うれしく思いました。

運動会は二学年ずつの交代制という初めて多くの思い出に残る行事ができたことは大変ありがたいことでした。息子は応援団長という大役をいたしました。息子が団長で大丈夫かと不安もありましたが、応援団のみなさんと一緒に精一杯声を出し、力いっぱい応援する姿は普段とは違いたくましく、とても感動しました。残り少ない小学校生活ですが、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

白組保護者

息子にとって最後の運動会。コロナ渦の中、短縮した形とはいえ、開催していただきけたこと、応援団も子供たちの気持ちを聞き、工夫した形でさせていただけたことに、とても感謝しています。

クラスの皆ではちまきを手作りし、応援の言葉を書きあつたこと、担任の先生に作ろうーとサプライズで当日の朝渡したところでも、とても温々として最高の笑顔でした。

厳しい環境の中、子供たちへの思い出の一ページを作つてくださつて、本当にありがとうございました。

